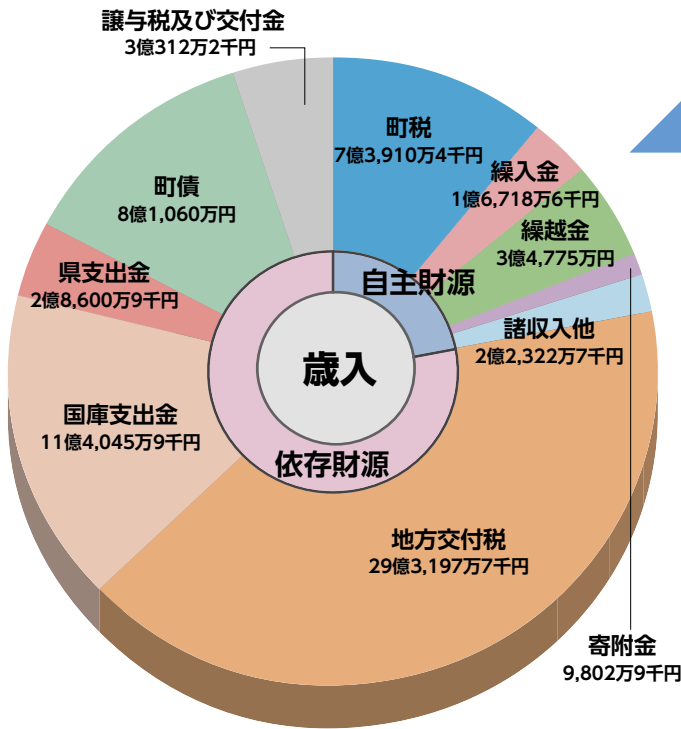


令和3年度決算をお知らせします

① 令和3年度一般会計の歳入歳出決算状況



歳入 70億4,746万3千円

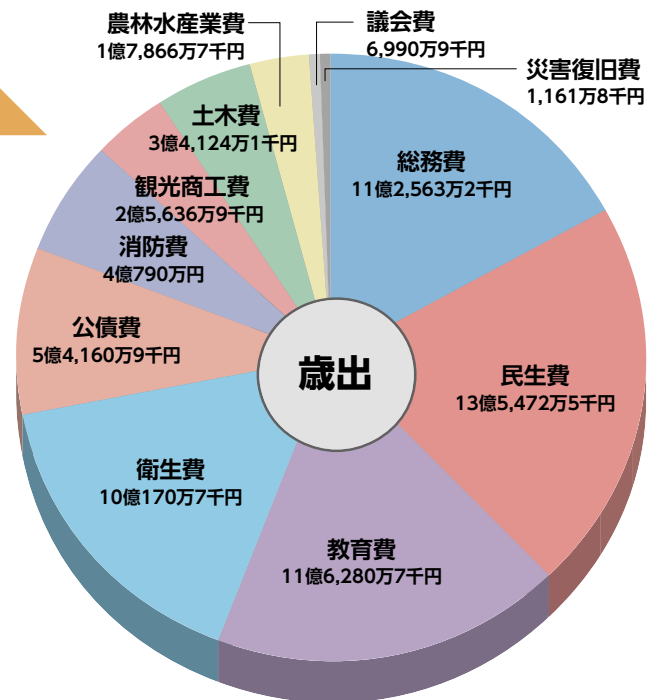
自主財源 15億7,529万6千円 (22.35%)

町税や使用料及び手数料、財産収入など吉野町が条例等に基づき徴収する収入。歳入総額に占める割合が高いほど財政の自主性と安定性が高いといえます。

依存財源 54億7,216万7千円 (77.65%)

国や県から地方自治体に交付される金額や割り当てられる収入で、国・県支出金、地方交付税、各種交付金、地方債などが該当します。

歳出 64億5,218万4千円



総務費

地域公共交通活性化事業	8,142万8千円
デジタル化推進事業	2,473万円

民生費

住民税非課税世帯等臨時特別給付金	1億570万8千円
こども園管理総務業務	3,506万5千円

衛生費

暮らしによりそう環境美化推進事業	1億886万6千円
新型コロナウイルスワクチン接種事業	1億8,369万2千円

農林水産業費

森林環境整備促進事業	3,231万8千円
美しい森林づくり基盤整備事業	1,455万8千円

観光商工費

観光力向上事業	2,562万1千円
吉野ふるさとづくり寄附金事業	3,082万6千円

土木費

町道管理事業	3,201万円
町道新設改良事業	8,354万円

消防費

常備消防事業	2億9,115万8千円
消防施設整備事業	4,844万5千円

教育費

小中一貫教育推進事業	8億4,717万5千円
運動公園施設維持管理事業	4,175万円

★歳入から歳出を差し引いた形式収支は5億9,527万9千円ですが、そのうち令和4年度への繰越財源の829万7千円を除いた実質収支が5億8,698万2千円になりました。

② 令和3年度特別会計決算額

(単位:円)

会計名	歳入	歳出	歳入歳出差引額
国民健康保険特別会計	11億3,955万6,026	10億3,759万1,485	1億196万4,541
後期高齢者医療特別会計	1億5,676万9,829	1億5,626万6,519	50万3,310
介護保険 特別会計	12億7,661万6,121	12億4,126万2,930	3,535万3,191
保険事業 サービス事業	253万2,649	253万2,649	0
下水道事業特別会計	2億4,924万268	2億4,924万268	0
農業集落排水事業特別会計	3,151万3,430	2,862万4,178	288万9,252
合計	28億5,622万8,323	27億1,551万8,029	1億4,071万294

③ 基金と町債の状況

基金(町の貯金)

基金名	3年度末残高
財政調整基金	6億2,978万6千円
減債基金	1億3,013万4千円
ふるさと水と土保全基金	583万7千円
地域福祉基金	3,072万3千円
ふるさと整備基金	2,954万2千円
有線テレビ放送基金	751万7千円
世界遺産・吉野ふるさとづくり基金	7,706万7千円
庁舎整備基金	1億47万9千円
吉野桜基金	886万1千円
町営住宅改修基金	6,056万7千円
森林環境整備促進基金	3,433万4千円
土地開発基金	3,411万円
特別会計基金合計	1億9,309万8千円
合計	13億4,206万5千円

町債(町の借金)

会計名	3年度末残高	
一般会計	過疎・辺地債	38億891万9千円
	臨時財政対策債	19億5,796万5千円
	緊急防災・減災事業債	7,657万7千円
	その他債	5億338万7千円
下水道事業特別会計	15億902万3千円	
農業集落排水事業特別会計	1億1,652万9千円	
水道事業特別会計	22億982万1千円	
合計	101億8,222万1千円	

④ 財政健全化判断比率・資金不足比率

町の財政状況を知るための指標に「財政健全化比率」「資金不足比率」があります。

これらは、町の決算に基づいて計算し、一定の基準を超えた団体は、財政状況に不安があると判断され、早期健全化に向けた計画の策定など財政運営上一定の義務が課せられます。

令和3年度の町の各指標は、いずれも基準を下回っている状態です。

○財政健全化判断比率

比率名	比率	早期健全化基準 (国の基準)	財政再生基準 (国の基準)
実質赤字比率	—	15.0%以上	20.0%以上
連結実質赤字比率	—	20.0%以上	30.0%以上
実質公債費比率	7.8%	25.0%以上	35.0%以上
将来負担比率	80.3%	350.0%以上	—

○資金不足比率

会計名	比率	経営健全化基準 (国の基準)
水道事業会計	—	20.0%
下水道事業特別会計	—	
農業集落事業特別会計	—	



※実質赤字比率は実質赤字額が、連結実質赤字比率は連結赤字額が、それぞれないため「—」と記載しています。